

授業科目 相談援助実習II

【担当教員名】		対象学年	2	対象学科	社会
松山茂樹		開講時期	前期	必修・選択	選択
		単位数	2	時間数	90(学内指導30・現場実習60)
【概要・一般目標：G10】					
<p>1. 社会福祉施設での現場実践を短期間体験し、社会福祉援助の実現場における業務の展開、職員の働き、利用者の状況について基礎的な理解を図る。</p> <p>2. 次年度の相談援助実習IIIに向けた自己の達成課題を明確にする。</p>					
【学習目標・行動目標：SBO】					
<p>1. 社会福祉施設での業務の展開を理解する。</p> <p>2. 社会福祉施設における職員の働きを理解する。</p> <p>3. 社会福祉施設における利用者の状況を理解する。</p> <p>4. 社会福祉士として求められる資質、技能、倫理について現場実践から理解する。</p> <p>5. 4と照らして自己の習得状況を理解し、達成課題を明確にする。</p>					
回数	授業計画・学習の主題			SBO番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員
1	全体学習・グループ オリエンテーションの後、各グループの担当教員との顔合わせ			SBO番号	講義・グループ指導
2	全体学習 身体障害者福祉施設の機能・対象者・支援上の留意点				講義
3	全体学習 知的障害者福祉施設の機能・対象者・支援上の留意点				講義
4	全体学習 児童福祉施設の機能・対象者・支援上の留意点				講義
5	全体学習 高齢者福祉施設の機能・対象者・支援上の留意点				講義（「個人票」下書き提出）
6	全体学習 総括レポートの作成（第2～5回分の授業のまとめ）				講義・レポート作成
7	グループ学習「個人票」下書きの返却と写真の点検1/事前学習				グループ指導（「写真」持参）
8	グループ学習「個人票」下書きの返却と写真の点検2/事前学習				グループ指導（「写真」持参）
9	全体学習 実習経験者から学ぶ				講義（シンポジウム形式）
10	グループ学習「個人票」清書の点検・提出、「事前学習欄」の清書・点検				グループ指導（「個人票」清書提出）
11	全体学習「倫理綱領」、守秘義務、「実習ノート」作成上の留意点等の理解				講義
12	全体学習 接遇マナーの基本				講義
13	グループ学習「実習ノート」の点検、施設オリテのアポイント				グループ指導
14	全体学習 腸内細菌検査・実習終了報告書の説明				講義
15	全体学習 最終確認				講義（必要に応じグループ指導）
16	（上記の日程は講師の都合等により変更することがある）				
17					
18	7月～ ・施設オリエンテーション：実習先を事前訪問し担当者と打ち合わせを行う				実習先へ事前訪問 各施設で実習
19	8～11月≪現場配属実習≫5日間、各配属先で現場実習を行う				
20	・配属先、実習日程は学生によって異なり、別途発表される				
21	・実習期間中は職員の指導に従って行動する				
22	・実習中の記録は「実習ノート」に毎日記入する				
23	・実習施設に事前送付してある「出勤簿」に押印する				
24	・実習期間中に担当教員が各施設を訪問し、巡回指導を行う				
25	・実習終了後、原則として3日以内に「実習ノート」を施設に提出する				
26	・実習終了後、1週間以内に「実習終了報告書」を大学に提出する				
27	・実習終了後、「御礼状」を施設に送る				
28	・実習後の事後指導と実習の総括は、後期の「相談援助演習I」の授業内で行う				
29					
【使用図書】		<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格 他>
教科書 (必ず購入する書籍)					
参考書		社会福祉実習サブノート ～初めて 実習生となるあなたへ～	社会福祉実習教育研究 会編集	中央法規	2000・2,000円
その他の資料		「現場実習の手引き」ほか、適宜プリントを配布			
【評価方法】		【履修上の留意点】			
授業（学内での事前学習）への出席状況、提出物の提出状況、実習先からの評価結果、「実習ノート」の記載内容から総合的に評価する。		・事前学習（全体・グループ）は実習に向けての重要な説明が含まれているため、必ず出席すること。 ・実習は施設職員と利用者の方々の理解と協力によって行われるものであることに十分留意し、誠実な態度で臨むこと。各種提出物や報告は期限を守り、確実に行うこと。			